



e-La Voz  
「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』  
日本語放送  
メールマガジン  
(第18号)

2004年4月15日発行

## 40周年特番の送信スケジュール決定！！！

「アンデスの声」日本語放送40周年記念番組が、2004年5月1日土曜日夕刻から夜にかけて、HCJBエクアドルとHCJBオーストラリアの両送信所からそれぞれ放送されます。

前回、放送予告をメールマガジン第17号(4月1日発行)で発表したため、エイプリル・フールのいたずらでは、と思われてしましましたが、これは本当の本當ですから、5月1日にはぜひ受信してください。レポートの返信にはベリカードに日本語放送40周年記念シールを貼つておとどけします。

0900 UTC (1800 JST) South Pacific	11750 kHz 30分番組
1130 UTC (2030 JST) Japan	15530 kHz 1時間番組
1300 UTC (2200 JST) South East/South Asia	15405 kHz 30分番組

受信報告書のあて先：

HCJB (エクアドル): Box 17-17-691, Quito, ECUADOR, South America

HCJB (オーストラリア): GPO Box 691, Melbourne 3001, AUSTRALIA

\* 返信料としてIRC(国際返信切手券)1枚を同封してください。

\* 「受信報告書」と「返信のあて先」は英語でお願いします。ただし、同封された「日本語の手紙」はすべてシカゴ(尾崎)に転送してくれることになっています。

## シカゴ報告 — よみがえりの恵み

イースター(復活節)おめでとうございます。主はよみがえられました！（ルカ24.6）

十字架と復活は私たちの信仰の中心です。イエス・キリストの受難は、全人類の贖罪という神の遠大な計画の一環でした。虐げられ、苦しめられながらも父のみ旨遂行のために十字架の死に至るまで忠実であった神のひとり子イエスは「すべてが終わった。父よ。わが靈を御手にゆだねます。」と言って、息を引き取りました。しかし、その死は死にとどまらず、より大いなる生への誕生となつたのです。空の墓はイエスが死人のなかからよみがえられたことの象徴であり、現実の暗さ、むなしさを見せられるなかで希望をもつことができるのも、受難のあとで主イエスが死に打ち勝って、今も生きておられるからです。

久子がlymphoma(リンパ節腫)と診断された時はとまどいましたが、医者をはじめ、教会、知人に相談した上で化学治療にふみきました。初めての私たちには不安と焦燥に包まれながらの5ヶ月間でした。3週間おきに合計6回にわたる薬剤注入をくりかえしたのですが、体内の悪玉を退治するのに善玉にも影響がで

るため体調がアンバランスになり、気分が沈みがちになることもありました。その間は、みなさま方の背後の祈りをおぼえ、詩篇23.4「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。」の約束をくりかえし読みながら上を見あげる日々を過ごしていました。そして、先日、担当医から「治療終了」の通知がとどいたのです。精密検査の結果、体内各所にひろがっていたリンパ節腫はすべて姿を消し、骨髄検査でも陰性だったというのです。あとは3ヶ月後に血液検査をするだけで投薬からも開放されました。これで久子も普通の生活に次第にもどることができるので、目方もふえることでしょう。天と地をむすぶ鎖であるとりなしの祈りがきかれたのです。まずは祈りの手をあげてくださった皆様方にお知らせしなくてはと、この手紙を認めた次第です。

このたびの闘病生活で広げられた祈りの輪は、どんなに私たちの慰めとなり、励ましとなったか知れません。また、病の谷から這いあがれたという得難い体験は、私たちのこころに新しいエネルギーを創り出してくれました。生命をつかさどっておられる方への畏敬、与えられた「おまけ」の人生をこれからもともに歩んでくださるその恵み、このふたつをしみじみと味わっています。私たちにとっては「よみがえりの人生」とよぶにふさわしい春の日を迎えることができたことを神に深く感謝しています。

神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人も慰めることができます。

(コリント人への手紙 第二 1. 4)

HCJB日本語放送担当

在住 尾崎一夫 久子

## 【ホームページのご案内】

HCJB日本語放送のホームページ(<http://www.hcjb.org/japanese/>)には、リスナー・コミュニケーションのためのふれあいコーナー「フォーラム」(<http://www.hcjb.org/japanese/forums/>)と、メールマガジンのバックナンバーを揃えた「メールマガジン e-La Voz らいぶらり」(<http://www.hcjb.org/japanese/mmz/>)のページがあります。どうぞご利用ください。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、「この内容で送信する」ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。ご面倒ですが、[HCJB日本語放送](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (※重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。)

配信変更先のメールアドレス   
(※重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。)

新規登録するメールアドレス

※お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。  
※このメールマガジンはコンテンツが大きいため、携帯電話への配信はできません。



Copyright © 2004 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: [kozaki@hcjb.org](mailto:kozaki@hcjb.org)

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki  
1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.

---